

時間	発表機関	テーマ	概要	抄録	その他支援内容
16:40 ～ 17:00	神奈川県 産業技術 センター	屋根用遮熱 塗料顔料	相反する特性(暗色 かつ高赤外線反射率) を持つ塗料顔料の開発	・本技術は、屋根用遮熱塗料顔料に関するものである。 ・日本の屋根は暗色が好まれるが、同時に、近赤外線反射率が高いことが求められ、隣接波長において相反する特性を求められている。このような特性を有する塗料顔料を「異種材料粒子」と「金属ナノ粒子の利用」という二つの技術要素を探索することで開発できた。 ・本技術の想定用途としては、屋根用断熱塗料、道路用遮熱塗料、暗色でありながら赤外線吸収率が少ないことを要求される表面材料などが考えられる。	神奈川県産業技術センターの 4 つの製造業支援 メニュー紹介 ①ものづくり支 援 ②研究開発 ③人材育成 ④技術情報発信 と交流・連携
		新形態の酸化 チタン光触媒 の紹介	光触媒の高活性化に よる抗菌・脱臭・セルフ クリーニング機能等の 向上、取扱い容易な 形態への変化	・本技術は、新形態の酸化チタン光触媒に関するものである。 ・酸化チタン光触媒は、既に様々な分野で応用されているが、さらに触媒活性を高めること、取り扱いやすいようにその形態を変えることが望まれている。 ・酸化チタン粒子の凝集体を作製する技術を開発し、上記要望への一つの解決方法を見出した。 ・本技術の想定用途としては、従来品より性能や使い勝手に優れた酸化チタン製の脱臭剤、水処理剤、抗菌剤、防汚剤などが考えられる。	